

# テクスパン

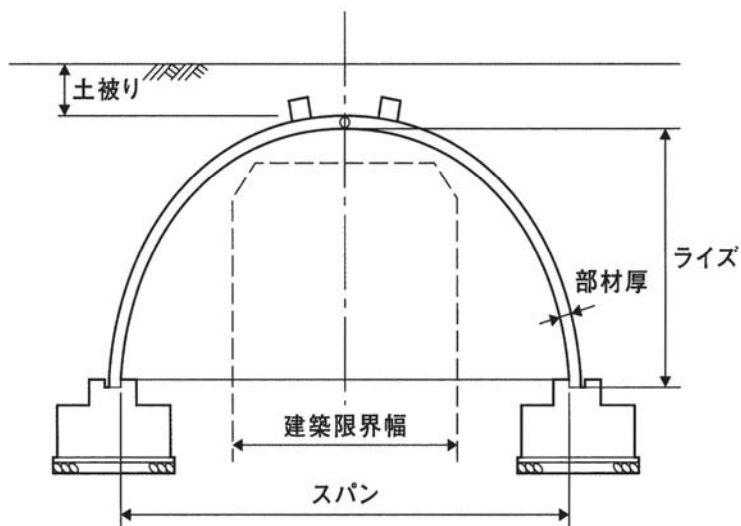


## 特長・ポイント

- 盛土とアーチ構造物が一体となり3ヒンジのアーチ構造物となる工法です
- 静定構造のため、外力と釣り合いながら変形するのでアーチ部材に発生する曲げモーメントを軽減できる
- 従来の現場打ちカルバート構造に比べ薄い部材で高い土被りや大スパン(20m程度)に適用できます



## ● 断面図



- ▶ アーチ部材架設には最初の5部材のみレッカー2台での作業となります。
- ▶ アーチ基礎は土被り、下部地盤条件によって異なります。
- ▶ テクスパン縦断勾配は6%までとします。
- ▶ 標準化テクスパンは、竹割り坑口、曲線用途には対応していません。